

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2013
平成25年

7.15

物語はいつも
ここから始まる!

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
魅力再発見!『図書館の舞台裏』	
今月の渥美半島の花	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	
学校生活の一コマを紹介	6
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 今月の渥美半島の花……………3ページ
- 地域の話(神戸校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

魅力再発見! 『図書館の舞台裏』

市民発!

皆さん、こんにちは。広報サポーターの浪崎季代美です。子どものころに「図書館が自分の家の本棚だったらいいのにな」と思ったことはありませんか。そんな思いを持っていた私は、今回、一冊の本がどんな方法で貸し出されているのかなどを知るため、図書館でお話を伺いました。



●田原市中央図書館



●お目当ての本を探す親子



●見やすく整理された本棚



●見計らい本



広報サポーター
浪崎季代美
(高松校区)

田原市中央図書館は、35万冊蔵書可能な図書館で、明るく広々とした

館内には、検索コーナー・インターネットコーナー・視聴ブース・研究個室・おはなしのへや・たみみコーナー・くつろぎコーナーなど、ゆつくりと読書のできる環境が整っています。

図書館に並ぶ本の選定は、まず本屋さんから送られてくる「見計らい本」を司書が確認し、入りたい本に付せんを張ったり、カタログや新聞の見出しから気になる本を選び出したりと、図書館に必要そうなものを、膨大な書籍の中から選びます。

そして、図書館長の最終確認を受け、納品されます。

図書館の舞台裏

★今回、広報サポーターが取材した、「図書館の舞台裏」の詳しい内容や、市のイベント情報などは、「広報サポーターブログ」などで確認できます。

田原市広報サポーターの部屋

- 田原市ホームページ
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>
- ブログアドレス
<http://kohotahara.dosugoi.net/>
- ツイッターアドレス
<http://twitter.com/#!/kohoTahara>



①

保護フィルムや、バーコードは業者に委託ですが、実際の作業は図書館の一角で行われ、すべて手作業です。



②

どこの図書館や書店でも見られるようになった「POP」^{ポップ}。このPOPづくりも司書の仕事です。



③

陳列された本の横に、POPなどがあると、つい手に取ってみたいくなりますね。



図書館には、移動図書館車「いずみ号」と「やしの実号」の2台が配備され、定期的に市内の小学校を巡回しています。子どもたちは、学校に移動図書館車がやって来るのを楽しみにしているようです。また、子どもだけでなく、普段あまり図書館に行けない一般の方も利用できるそうですよ。

☑移動図書館車が市内を巡回

お目当ての本がなかなか探せない時などは、レファレンスコーナーで訪ねると、ほんの少しのヒントをもとに親切丁寧に探してくれます。さらに、館内のエントランス付近には展示コーナーが設けてあります。展示品の中には、地元企業などからの提供もあり、図書館から発信できる情報は、どんな取り入れていく姿勢が伺えます。

☑館内を有効に活用



これからも、図書館に訪れる人たちが、今以上に満足のできる充実した「図書館づくり」を目指し、頑張ってください。

☑三冊でも多くの本を読もう！

図書館を賢く利用するためには「予約システム」という方法がおすすです。まだまだ知らない方が多いそうですが、読みたい本を検索し、自分が取りに行ける図書館を指定し予約すると届けてくれるというシステムです。指定した図書館に本が届くと、メールや電話で連絡してくれるので、とても便利です。

☑便利な予約システム

8月

今月の渥美半島の花～スプレーギク～

スプレーギク (切花/出荷時期:通年)

【花言葉】…逆境の中で元気

輪ギクとは異なり、1本の茎に何輪もの花を放射状に咲かせるキクです。別名「スプレーマム」と呼ばれることもあります。アメリカで改良された園芸品種で、日本へは1975年に輸入されました。輪ギクと比べると洋花的なイメージがあり、花色や花形も豊富で、さまざまな用途に使われています。花色は白、黄、オレンジ、ピンクなどパステルカラーが豊富です。花持ちもよくフラワーアレンジメントにも利用されます。

田原市は県内1位の生産量を誇っており、電照による開花調整により通年出荷をしています。





▲小学生の下校時に声かけを行う「ながら見守り隊」



▲地域の安心安全活動について話し合う協議会の福祉部会員

地域の話題

神戸校区

地域で協力しあって安心安全

地域ぐるみで安心安全な校区にしよう

「ながら見守り隊」が発足した

神戸コミュニティ協議会からお便りが届きました。



ながら見守り隊

ながら見守り隊は、散歩をしなが
ら、農作業をしなが など、
小中学生の通学時に外に出て、子ど
もの登下校を見守ったり、声をかけ
たりする地域の協力者たちの集まり
です。

平成23年度に改訂した「神戸校区
まちづくり推進計画」にある「安
心安全 備え万全！助け合える校区」
「通学時の安全を確保する」の実現
に向けて話し合いをするなかで、地
域の人たちで子どもたちを見守る活
動をしようという気運が高まり、平
成24年11月4日、神戸市民館まつり
の日に、ながら見守り隊が発足しま
した。今年6月現在の協力者は約
300人です。

公募でシンボルマークを決定

ながら見守り
隊の隊員は、シ
ンボルマークの
ついた黄色の帽
子をかぶって活
動しています。このマークは、神戸
小学校の児童から公募し、決定しま
した。さらにマークを入れた旗も
作って活用しています。



▲シンボルマーク

広報誌「ながら見守り隊通信」

今年4月、広報誌「ながら見守り
隊通信」を発行し、校区内で回覧し
ました。隊の活動内容や小・中学校
の下校時間、学校の行事予定などを
掲載しています。今後は2カ月に1
回発行しますので、地域の皆さんに

今年4月、広報誌「ながら見守り
隊通信」を発行し、校区内で回覧し
ました。隊の活動内容や小・中学校
の下校時間、学校の行事予定などを
掲載しています。今後は2カ月に1
回発行しますので、地域の皆さんに



▲ながら見守り隊通信

学校や子どもたちを身近に感じて
もらえたらと思います。

目標は協力者数500人

「子どもたちと関わりを持てるよ
うになった」「子どもたちから元氣
をもらっている」と、協力者の皆さ
んは好意的に活動されています。

また、神戸小学校の児童たちに実
施したアンケートでは、多くの児童
が、ながら見守り隊を知っていると
回答しました。

協力者数500人を目標に、小学
生をはじめ、もっと多くの方に認識
してもらえるように活動していき
たいと考えています。

ながら見守り隊が、「安心安全な
神戸校区」「子どもから高齢の方
まで明るくふれあう神戸校区」の発信
源になれるよう、今後も活動を発展
させながら続けていきます。



市民活動を応援するページ

市民活動紹介

環境ボランティアサークル 亀の子隊

～夏休みだ！支援に行こう、東北へ！～

西の浜海岸をきれいにする活動を続けています。平成10年、亀山小学校の児童たちが西の浜海岸のゴミの多さに驚き、「西の浜はゴミ箱じゃない」をテーマに学習活動を始めたことがきっかけでサークルが立ち上がりました。西の浜をきれいにするゴミ拾い活動を通じ、三河湾、伊勢湾、そして世界の海の環境に関心を持つ心を育てることも目的としています。

毎月1回の清掃活動を続けていますが、東北大震災が起こった平成23年には「夏休みだ！支援に行こう、東北へ」と題し、現地でのボランティア活動も行いました。被災地では少しずつ復興のさざしが見えますが、まだまだ人手を必要としています。

亀の子隊は、今年の夏にも第5弾の活動を企画しました。この夏休み、一緒に東北地方へ支援に行きませんか。



▲西の浜クリーンアップ活動の様子

◎夏休みだ！支援に行こう、東北へ！第5弾

日時 ● 8月27日(火)～29日(木)

支援地域 ● 宮城県南三陸町

定員 ● 先着 20名 (高校生以上)

活動内容 ● 瓦礫の撤去・漁業支援

費用 ● 高校生・大学生 23,000円～ / 大人 26,000円～ (旅費・宿泊費・保険料など)

◎西の浜クリーンアップ活動 (定例活動)

毎月第3日曜日 午前10時～11時 / 西の浜海岸にて

お問い合わせ

代表 鈴木

☎090-9123-7983

✉yoshiharu@kamenoko.org

🌐http://www.kamenoko.org

市民提案

市の事業を受託してみませんか？

自由なテーマで提案してみよう！

市民提案型委託制度(自由テーマ型)は、市が取り組むべき事業について市民活動団体から提案していただき、団体と市とが委託契約を結んで事業実施するものです。今回は、市民活動団体が自由な発想で考える事業を募集します。

●募集期間 8月29日(木)午後5時まで ※必着

●対象事業 市の施策が推進される事業で、平成27年2月末までに完了する事業

例えば…ツイッターやフェイスブックの活用講座の企画・開催、農家の皆さんでの農道整備活動など
この他にも自由にご提案ください。

●対象団体 主に市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体

●応募方法 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて提出。
提案用紙は市ホームページからもダウンロード可 (<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)

●審査方法 事業担当課へのプレゼンテーションによる審査

●スケジュール



●応募・お問い合わせ 市民協働課 ☎23局3504 ☎23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

■このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ: ☎22局1111 (内線812) ※開設時間のみ ☎23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 60
学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「校区の方々の協力」と「校内群読会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原東部小学校「校区の方々に感謝」

体験学習を通して学ぶこと

田原東部小学校では、毎年校区の皆さんに協力をいただきながら、多くの体験活動を行っています。

1・2年生は、春の遠足として学校林、シイタケ栽培林、東部里山公園へ出かけます。

シイタケ栽培林には、親子のふれあいや食育を学ぶための体験学習として、子どもたちが小学校に入学する前に実施した「シイタケの菌打ち体験」の時の原木が置いてあります。春の遠足では、原木が置かれている環境や、シイタケが育つ様子について、校区の方から説明を受けました。

東部里山公園では、子どもたちが水遊びをしたり、池で魚やザリガニを捕まえたりできるように、校区の方々が準備の段階から協力してくれます。子どもたちは池の中に入り、大はしゃぎでザリガニやドジョウ、フナなど、たくさんの生き物を捕まえていました。

校区の方々に支えられ、貴重な体験をした子どもたちは、笑顔で帰路につきました。



●シイタケが育つ様子を学ぶ子どもたち



●池の中の生き物を捕まえる子どもたち



●みんなの心を一つにして全校で群読

中山小学校「校内群読会」 全校児童が心を合わせて

群読会は、今年で21年目を迎えた中山小学校の伝統的な行事です。「内容を正しく豊かにとらえて作品の世界を感じ取り、表現すること」「声に出して読むことにより、自分を表現する喜びを味わうこと」「発表を聞き合い、高め合うこと」をねらいとして毎年実施しています。

今年度は、発声練習の後、全校で「てのひらを太陽に」の歌と群読をしました。体育館中に響き渡る子どもたちの声、声、声。ものすごい迫力です。次はクラス発表です。どのクラスも、張りのある声で、響きとまとまりがあり、思いつき自分を解放している姿が、とてもさわやかでした。子どもたちからは「楽しかった」「もっと読みたい」などの感想が聞かれ、満足感が伝わってきました。友だちと一緒に進んで声を出したり、「群読の声で発言やあいさつをしたい」と今後の目標を語ったりする子どもたち。そんな子どもたちの思いがつながり合って、さらに生き生きと、心豊かな毎日が過ごせることを願っています。



●力強い大声を響かせた2年生のクラス発表



▲咲き誇る花をイメージしながら種まきを行う和地小学校の児童たち

6月7日(金)

みんなで作ろう
花のある地域！

ひまわりとコスモスの種まきを和地小4〜6年生37名が、国道42号沿いの畑(和地町)で行いました。常に花のある地域づくりを目指し、和地校区主催で行われたこの行事。校区の役員から種まきの指導を受けた児童らは、一粒一粒丁寧に種をまいていました。



▲願い事を書いた短冊をササに飾る参加者

6月30日(日)

短冊に思いを
星に願いを！

七夕企画「星に願いを」が中央広場で行われました。イベントには、親子連れなど約600名が参加。願い事が書かれた短冊や折り紙などで飾り付けられたササは、イベント終了後、はなとき通りなどに飾られ、彩りを添えていました。



◆若葉カップ全国小学生バドミントン大会

(京都府長岡京市 [8/2~5])

ティー ジャンプ ジュニア
◎ T - Jump Jr.

【写真上段左から】志賀伊吹くん(衣笠小5年)、牧野滉平くん(神戸小6年)、安田凌くん(田原東部小5年)、大羽航正くん(衣笠小4年)

【下段左から】松本磨和輝くん(福江小6年)、大谷悠斗くん(童浦小6年)、大谷健人くん(童浦小1年)、伊藤伊吹くん(野田小4年)、河辺颯真くん(田原東部小5年)

全国大会に出場を決めた皆さんをご紹介します。皆さんの活躍に期待します！

頑張れ！ 田原っこ

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



●みんなで取り組む節電・省エネ

今年の夏も節電が求められています。今回は、市内で行われている節電・省エネの取り組みの一部をご紹介します。

◆エコでニコニコ大作戦

「エコでニコニコ大作戦」とは、学校で節電に取り組み、削減できた電気料金の全額を、希望物品（教育物品・運動用品・図書など）としてその学校に市から還元する取り組みです。

昨年4月から今年1月までの10カ月間の全小・中学校の削減電力量の合計は、23万3923kWh。平成22年度の同時期と比較して約12%の電気使用量の削減となり、総額64万円分が各学校へ還元されました。
エコでニコニコ大作戦は、今年度も行われています。

◆ライトダウンキャンペーン

6月21日～7月7日までの期間、一斉消灯を呼びかける「ライトダウンキャンペーン」を実施し、市内の多くの事業所の皆さんに協力いただきました。

●市内参加施設1162事業所

参加施設などの詳細は市ホームページでご覧いただけます。

◆参加者の声（愛知厚生連渥美病院）

6月21日と7月7日の2日間、施設屋上にあるライトアップ照明の消灯を行いました。

いつも使っている明かりを消すことで、地球温暖化防止について考えるきっかけになりました。

これからも照明以外においても、業務に支障のない範囲で省エネに努めたいと思います。



今回ご紹介した取り組みのほかに、節電には多くの方にご協力いただいています。皆さんも、できることから取り組みましょう。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2208人・事業所85か所（6月末現在）

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

🌐<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー

14



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

最近では、ペットを飼う人も多く、ペットは家族の一員となっています。大切なペットも、飼い主のマナーによつては近所の方に迷惑をかけたリ、野犬や野良猫になってしまうこともあります。責任を持って飼いましよう。

◆野犬対策にご協力を

●犬を飼っている方へ

逃亡した飼い犬が野犬の増加につながる可能性があります。放し飼いはせず、必ず係留してください。

●畜産農家の方へ

家畜などが野犬の餌になることがあります。侵入防止策を講じてください。

◆猫の飼い主マナー

●なるべく室内飼いに

感染症や交通事故を防ぐため、猫はなるべく室内で飼いましょう。やむを得ず屋外で飼う場合は、周辺環境に配慮し、フンや尿は適切に処理しましょう。



●首輪と名札をつけよう

迷い猫や災害時に備え、連絡先が分かるようにしましょう。保護した人から連絡がある場合もあります。1年間に、交通事故などに遭い路上で死亡して回収される猫は、約400匹です。

●ペット火葬場について

平成25年10月1日からペット火葬場の使用料が変わります。

動物区分をなくし、集合火葬と個別火葬の2種類になります。なお、個別火葬は5kg以上のペットになります。
※詳しくは、広報たはら9月号に掲載予定です。



◎ペット火葬場使用料

区分	市内	市外
個別(5kg以上)	12,000円	40,000円
集合	2,000円	15,000円

▼環境衛生課

☎23局2541 FAX23局0180

涼しげな風を感じながら、高原の休日を満喫！

避暑に最適な姉妹・友好都市の夏の楽しみ方をご紹介します。

●愛知県北設楽郡設楽町(姉妹都市)

歴史文化薫る散歩道

(金龍寺～鞍船遺跡～不動滝～津具八幡宮を散歩)

散歩道には、県指定文化財「金龍寺枝垂れ桜」「鞍船遺跡」「津具八幡宮のスギ」を見ることができます。

また、不動滝は、ホテルの鑑賞スポットでもあり、6月中旬下旬から8月盆過ぎまでゲンジホテル→ヘイケホテル→ヒメホテルの順に観察できます。



▶設楽町役場津具総合支所管理課 ☎(0536)83局 2301

●長野県上伊那郡宮田村

(友好都市)

こもれ陽の径

中央アルプス山麓の散歩道「こもれ陽の径」。美しい自然を残した森林で、涼しげな清流に沿って散策することができます。

▶宮田村役場産業課 ☎(0265)85局 5864



●長野県下伊那郡阿南町

(友好都市)

ゆうゆ～らんど阿南 かじかの湯

天然温泉をはじめ陶芸体験、バターゴルフなどが楽しめる山あいの総合レジャー施設です。また、清流のほとりにあり、川遊びなども楽しむことができます。

▶ゆうゆ～らんど阿南かじかの湯 ☎(0260)22局 2000



●一時雨・・・雨が連続的に降り、降っている時間が予報期間の1/2未満の場合

●一時雨・・・雨が連続的に降り、降っている時間が予報期間の1/4未満の場合

▼降水量の表示「ミリ」とは
降った雨がどこにも流れずにそのまま溜まった場合の水の深さを表しています。

「1日で100ミリの降水量」という場合は、「1日で雨が水深100mmまで溜まる」という意味になります。



100mm

皆

さん、毎日の天気予報を気にしていませんか？今回は、普段何気なく見聞きしている「天気予報」の中から雨の予報について紹介します。

▼「のち」「時々」「一時」の違い

●のち雨・・・予報期間の前半が曇りで後半が雨の場合

●時々雨・・・雨が断続的に降り、降っている時間が予報期間の1/2未満の場合

●一時雨・・・雨が連続的に降り、降っている時間が予報期間の1/4未満の場合

▼降水確率とは

指定された時間帯の間に1ミリ以上の雨が降る確率と定義されています。降水の有無のみについて確率を示すもので、断続的か一時的かなどの降り方や、降水量の多少については何も示していません。予報が出される地域内のどの地点でも同じ確率として定義されます。

「東三河南部の正午から午後6時までの降水確率は70%」という場合は、「東三河南部のどの地点でも、正午から午後6時までの降水量の合計が1ミリ以上となる確率が70%である」という意味になります。

▼天気予報を正しく理解しておこう

これから秋にかけては、台風や集中豪雨などが発生しやすいシーズンです。この機会に天気予報を正しく理解しておき、自然災害に備えましょう。

▼防災対策課 ☎23局3548

けんちゃん

天気予報

防災知恵袋

27



みんなで取り組む防災・減災

おしらせ				
INFORMATION				

募集

WANTED

渥美図書館講座 参加者

「子ども一日司書」体験

▼対象 市内小学校4～6年生の児童
▼日時 8月20日(火)～22日(木)のうち1日/午後1時30分～4時
▼場所 渥美図書館 ▼定員 各2名(先着順) ▼持ち物 筆記用具、私物の本1冊(カバーをかけてよいもの)
▼申し込み 7月20日(土)～8月15日(木)の期間に直接または電話にて。(初日の電話受付は午前10時15分) ※申し込みは、本人または家族で。

「手作り教室「陶芸」に挑戦!

▼対象 中学生以上(原則2回参加可能な方) ▼日時 9月14日(土)・21日(土) / いずれも午後1時30分
▼場所 渥美文化会館小会議室 B(農村環境改善センター2階)
▼定員 10名(先着順) ▼講師 大島邦男氏(渥美窯陶友会会員)
▼参加費 2000円程度(燃焼・材料費など) ▼持ち物 筆記用具、手拭きタオル ▼申し込み 8月10日(土)～31日(土)の期間に直接または電話にて。(初日の電話受付は午前10時15分)
※完成作品は後日のお渡しとなります。
▼渥美図書館 33局1114



自衛官制度説明会

平成25年度自衛官採用に伴い、希望者に対し、制度説明会を開催します。進学、就職をお考えの方、または自衛隊に関心のある方はお気軽にお越しください。
▼対象 平成25年度に18～26歳になる方(保護者同伴可) ▼日時 8月3日(土) 午前10時～正午(受付: 午前9時50分) ▼場所 田原文化会館101会議室
▼自衛隊豊橋地域事務所 (0532)33局2693
aichi.pco.toyohashi@rct.gsdmmod.go.jp

定時制通信制高校合同説明会

▼対象 関心のある方(保護者:本人・支援者および中学・高校関係者、不登校や中途退学で次の進路先として悩んでいる高校生およびその保護者、進路先で悩んでいる中学生およびその保護者など) ▼日時 8月10日(土) 午後1時30分～4時 ▼会場 豊橋市教育会館 ▼参加高校 豊橋市・田原市・岡崎市・浜松市にある定時制・通信制高校12校程度 ▼内容 定時制高校・通信制高校概要説明、個別ブースによる相談
▼その他 事前申込不要、無料
▼豊橋市教育委員会生涯学習課 (0532)51局2855
shogaigakushu@city.toyohashi.jp
http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_kyoiku/shogaigakushu/jiritsusen/kodomo-wakanono.html



田原市民まつりじゃん、田原りん踊りコンテスト参加者

▼日時 平成25年10月27日(日) 午後5時～※全体の進行などにより、時間を変更することがあります。
▼場所 はなとき通り1帯
▼応募資格 1チーム5名以上(中学生以下は保護者同伴)
▼申し込み 9月23日(月)までに、商工観光課にある参加申込書(田原市民まつりホームページからダウンロード可)に必要事項を記入のうえ、持参またはFAX・郵送にて ※10月初旬に参加者説明会を行います。日程などは決まりしだいお知らせします。
▼賞 優勝:賞金20万円/準優勝:賞金10万円/その他各賞もりたくさん!
▼田原市民まつり実行委員会事務局(商工観光課) 23局65522 FAX 22局68017
http://www.tahara-fes.sakurane.jp



赤羽根図書館講座 参加者

iPad^{アイパッド}を使って本を検索してみよう!

▼対象 2名1組 (どちらかは中学生以上) ▼日時 8月25日(日) 午後1時30分~3時30分 ▼場所 赤羽根図書館 ▼定員 5組 (先着順)

▼受講料 無料

▼申し込み 8月10日(土) から直接

▼赤羽根図書館

☎45局3426



生活

滝頭公園駐車場 混雑予想

8月16日(金)~18日(日)の期間、滝頭公園野球場で全国中学校軟式野球大会が行われます。期間中、駐車場の混雑が予想されます。

ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

◆実施日 8月16日(金)~18日(日)

*予備日 8月19日(月)

▼学校教育課

☎23局3679 FAX 22局3811

夏の安全なまちづくり県民運動 8月1日(木)~10日(土)

8月は、夏休みや長期休暇で開放的な気分になり、身の回りに潜む危険を忘れがちな時期です。また、ラジオ体操や盆踊りなど地域行事も行われ、地域連帯を強めていける時期でもあります。

そこで、地域の皆さんと防犯協会、警察が協力しあって身の回りに危険を及ぼす犯罪を未然に防ぐ活動を展開するとともに、皆さん一人ひとりが防犯意識を高めながら、地域ぐるみで町を見守り、安心して暮らせるまちづくりをめざしましょう。

重点実施項目

- 短時間の外出でも、家に必ず鍵をかけたましよう。
- なるべく人通りが多い明るい道を通りましよう。
- 車両から離れるときは鍵をかけたましよう。

● 振り込め詐欺に注意しましよう。

▼市民協働課

☎23局3504 FAX 23局0180

愛知県防災ヘリコプターと

田原市消防署合同訓練を実施

愛知県防災航空隊ヘリコプターと

田原市消防署が合同で訓練を行います。訓練中は騒音が発生します。また、訓練会場付近への立入り制限を行います。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

▼日時 8月9日(金) 午前10時

▼正午 ▼場所 伊良湖北離岸堤

周辺 ▼その他 雨天・荒天の場合は訓練を中止します。

▼消防署 渥美分署

☎33局0119 FAX 32局2479



堆肥散布による悪臭などの発生防止にご協力を

堆肥を散布すると、近隣の住宅や観光施設などから悪臭やハエなどの苦情が寄せられることがあります。

次の点に注意して、生活環境の保全と水質汚濁などの防止にご協力をお願いします。

- 悪臭が発生するような堆肥を使用せず、十分発酵させ悪臭を伴わない完熟堆肥を使用しましよう。
- 農地に搬入した堆肥は、すぐに鋤き込みましよう。搬入後、雨天により鋤き込みできないことのないよう、天候に注意しましよう。
- 住居や観光施設に近い農地に施肥

する場合は、生活環境に十分配慮し、悪臭、粉じん、ハエなどの害虫や汚水が発生しないようにならましよう。

● 地下水汚染の原因にもなる、過剰な堆肥投入はやめましよう。

▼農政課

☎23局3517 FAX 22局3817

▼環境衛生課

☎23局3541 FAX 23局0180

寄付

DONATION

次の方からご寄附をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼6月12日、並樹会様から地域福祉のため金1万円。

第6回男女共同参画フェスティバル (映画上映&監督講演)

日時=8月25日(日) 13:30開演(13:00開場)

場所=田原文化会館文化ホール

主催=田原市男女共同参画推進懇話会

上映作品=「幸福な食卓」

(出演:北乃きい、平岡祐太ほか)

入場料=無料 ※入場整理券が必要

入場整理券=7月24日(木)から配布開始

配布場所=市民協働課・渥美支所(平日のみ)、田原文化会館・赤羽根文化会館(月曜休館)、渥美文化会館(土・日・祝日のみ)

問い合わせ=市民協働課 ☎23局3504

歴史探訪

クラブ!

其の
148



History Inquiry Club

文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

もっぴつつの文化遺産 屋根瓦

私は建物に使われる瓦が好きです。屋根に葺かれ、整然と並んでいく瓦。本来、防水の機能のため考えられたのですが、その姿は機能美だけでなくデザイン的にも美しいと感じます。時代を経て、落ち着いた色となった屋根瓦にいともしさも感じます。

渥美半島の伝統的な瓦は水が浸透しないよう炭素を吸着させた燻し瓦です。地場産業として盛んだったセメントを使用した瓦が作られた時代

もありました。

寺・城・館に使われていた瓦は、明治以降、一般の住宅などにも普及し、それぞれの村に必ず瓦屋があるほどでした。しかし、今では住宅の多様化も進み、さまざまな素材の屋根材、瓦の種類が増えたことで、昔ながらの瓦を生産することも葺くことも減ってしまいました。

そんな数少ない瓦を生産している、知り合いの瓦屋さんと話をしていたところ、地方ごとに瓦の仕様が違うことを教わりました。その瓦屋では、渥美半島の強い風に耐えうる構造や材質でつくっているそうです。地域の風土に合った住環境を工夫するのは当たり前なのですが、その思いに感激しました。

ところで、お寺には屋根の改修や建替えのために降ろされた大きな鬼瓦が境内に飾ってあることがあります。写真は西光寺（西神戸町新美）の境内にある鬼瓦です。表面が剥がれ落ちてしまっているところもありま



▲西光寺にある鬼瓦

すが、「癸天保四年巳年 六月□□ 長嶋□□衛門孝道代」と瓦に文字が刻まれています。長嶋と名乗る人は田原藩の瓦師で、田原城をはじめ藩領内の寺院の瓦を作っていました。

屋根の一番高い棟の両端にある鬼瓦は、防水機能や装飾ばかりでなく、願いがこめられています。鬼瓦の面に「水」が刻まれている場合は防火の願い、家紋の場合はその建物を建てた家族を含めた組織のシンボルとしたものです。

瓦にはこの田原市の風土によって形作られた技術やデザインがありま



▲江戸時代の塀に使われていた瓦。ここにも長嶋十左衛門の名がある

す。民家や寺社の屋根に葺かれた瓦は、この地域の原風景となる立派な文化遺産といえますね。

(増山)

今月の「表紙」

▼映画を見るのが好きです。でも時間があると、本を手に取りたくありません。頭の中だけで展開する物語は、与えられた音や映像を受け取るよりも、ずっと鮮明に感じられます。中央図書館にある約30万冊の本。それぞれの本に広がる、それぞれの世界。どの一冊を手にするのかは、偶然なのか必然なのか。「運命の一冊」に出会える日は、いつの日か来るはず……。(M)

【表紙の写真】お気に入りの本と共に【中央図書館】

広報 **Tahara** たはら
No.742 平成25年7月15日号
編集・発行／田原市役所政策推進部広報課
電話／0531-22-1111 (代表)
Eメール／koho@city.tahara.aichi.jp

本誌は再生紙を使用しています。